

パソコンとの連携 (ActiveSync)

ActiveSyncを使うと同期やファイルのコピーなど以下のことができます。

- ・パソコンのMicrosoft Outlookとこの製品の予定表や連絡先などのデータを同期します。たとえば、この製品の予定表を外出先で変更してもオフィスのパソコンと同期すると、データを比較し古いデータを新しいデータに更新します。
- ・この製品とパソコン間でファイルやフォルダをドラッグ&ドロップでコピーできます(☞8-12ページ)。
- ・Word MobileやExcel MobileのデータとパソコンのWordやExcelのデータを同期します(☞8-13ページ)。
- ・パソコンで表示したホームページのURLをこの製品に転送することができます(☞8-14ページ)。

ここでは、ActiveSyncの基本的な使いかたについて説明します。

ActiveSyncの設定や使用方法についてくわしくは、ActiveSyncのヘルプや、付属のCD-ROMの中にあるActiveSyncのReadme.docをご覧ください。

MEMO

- パソコンのWordやExcelのデータをWord MobileやExcel Mobileのデータに変換したとき、Word MobileやExcel Mobileがサポートしていない書式や機能などは反映されません。

パソコンの動作環境について

インストールする前にパソコンの環境を確認します。

OS(ActiveSyncとUSBモデムドライバ共通)

- ・ Microsoft Windows XP Professional(Service Pack 1および2)
- ・ Microsoft Windows XP Home(Service Pack 1および2)
- ・ Microsoft Windows 2000 Professional(Service Pack 4)

アプリケーション

- ・ Microsoft Outlook 98以降
受信トレイ、予定表、連絡先、仕事などと同期するために必要
- ・ Microsoft Internet Explorer 5.01以降

ハードディスク空き容量

- ・ ActiveSyncの場合：12～65MB

その他

- ・ USBポート
- ・ CD-ROMドライブ
- ・ 256色以上のVGAグラフィックスカードまたは互換性のあるビデオグラフィックスアダプタ
- ・ キーボード
- ・ Microsoft マウスまたは互換性のあるポインティングデバイス

オプション

- ・ Microsoft Office 97、Microsoft Office 2000、Microsoft Office 2003、Microsoft Office XP
- ・ 音声用オーディオカード/スピーカー

MEMO

- USBモデムドライバをインストールするときも、ActiveSyncと同じOSの環境(上記)です。

ご注意!

次のようなパソコンでの動作は保証できません。

- ・ 自作パソコン
- ・ OSをアップグレードしたり入れ替えたパソコン
- ・ ご自分で追加したUSBポートをお使いのとき
- ・ USBハブなどを経由した接続のとき
- ・ パソコンにこの製品以外のUSB機器が接続されているとき

ActiveSyncをインストールする

ActiveSyncをインストールする前にお読みください

ActiveSyncをインストールする前に、ここに記載していることを確認してください。

確認した後、インストールを行ってください。

- ① **Outlookをインストールして、使用状態(下記)にしてください。なお、Outlook Expressとは同期できません。**

ActiveSyncをインストールした後でOutlookをインストール／使用できる状態にしても、すぐには使えません。まず、Outlookをインストールして使用できる状態にしてください。

Outlookを使用状態にする

Outlookインストール後、Outlookの「ツール」メニューの「オプション」をクリックし、「その他」タブをクリックします。「全般」の「Outlook を既定の電子メール、連絡先、予定表のプログラムにする」チェックボックスを付けた後、Outlookに連絡先や予定表などのデータを入力すると使用状態になります。

Outlook2000をお使いの場合は、パソコンの“Internet Explorer”を起動し、「ツール」メニューの「インターネットオプション」をクリックし、表示された画面の「プログラム」タブをクリックして「電子メール」を「Microsoft Office Outlook」にします。

- ② **ウイルスチェックソフトやファイアウォールソフトなどをインストールしているときは、それらを停止／無効にしてください。**



停止方法などについては、ウイルスチェックソフトやファイアウォールソフトの説明書などをご覧ください。

- ③ **Intellisyncなど他の同期ソフトウェアや常駐ソフトウェアをインストールしているときは、それらを停止するかアンインストールしてください。**

- ④ **Windows Media Playerと同期するときは、Windows Media Player 10をインストールしてください。**

古いバージョンのWindows Media Playerとは同期できませんので、ご注意ください。

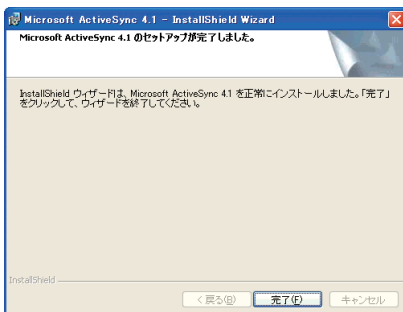
1 この製品の通信モードをActiveSyncができる設定にします。

- 1 [スタート]メニューの“設定”にタップし、[接続]タブをタップします。
- 2  “USB 接続”の [USB 接続] タブで「PCと同期する。(ActiveSync)」にチェックを付けます。
- 3 この製品の電源が自動的に切れないように設定しておいてください(10-20ページ)。

2 付属のGetting Started CDをパソコンにセットします。 しばらくすると、次の画面が表示されます。

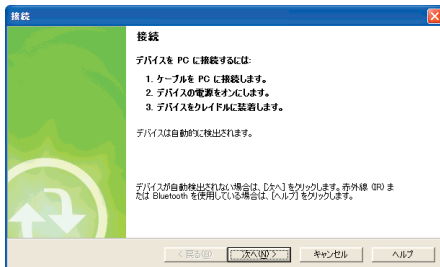


3 [次へ]をクリックし、下記の画面が表示されるまで画面の指示にしたがってインストールします。



4 [完了]をクリックし、パソコンの再起動を行う画面が表示されたときは[はい]をクリックし、再起動します。

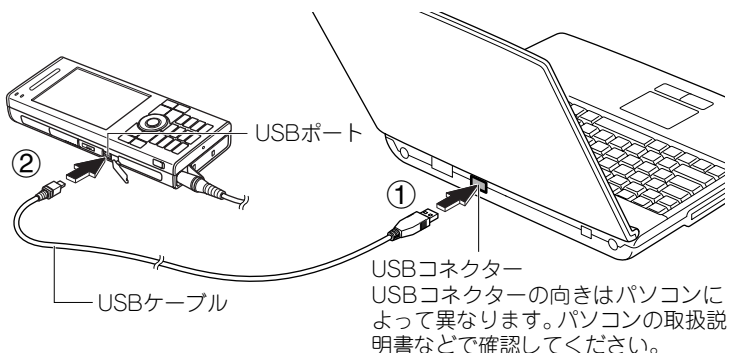
5 再起動後、しばらくすると「接続」画面が表示されます。



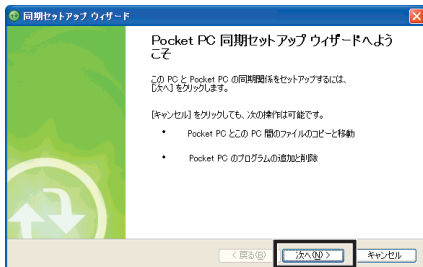
6 上記画面が表示された状態で、①、②の順でパソコンとこの製品を付属のUSBケーブルを使って接続します。

ご注意!

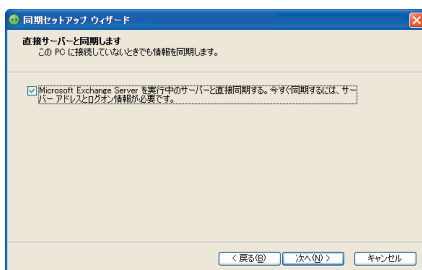
- USBケーブルは、パソコンのUSBコネクタに直接接続してください。USBハブやUSB延長ケーブルを使って接続すると正しく動作しないことがあります。
- パソコンと接続するときは、この製品にACアダプターを接続するか充電電池の残量が十分であることを確認してください。



7 「Pocket PC 同期セットアップ ウィザードへようこそ」画面が表示されたら、[次へ]をクリックします。



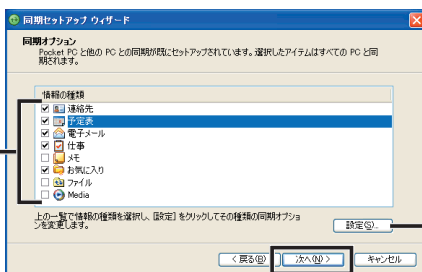
- お使いのパソコンがMicrosoft Exchange Serverに接続しているときは前ページの手順7の後、「直接サーバーと同期します」画面(以下の画面)が表示されます。



- ・ Microsoft Exchange Serverと直接同期しないときは、「Microsoft Exchange Serverを実行中のサーバーと直接同期する」のチェックを外し、[次へ]をクリックします。
 - ・ Microsoft Exchange Serverと直接同期するときは、「Microsoft Exchange Serverを実行中のサーバーと直接同期する」のチェックを付け、[次へ]をクリックします。
- 次に表示された画面でサーバー情報やログオン情報などを設定し、[次へ]をクリックすると、手順8に進みます(手順8の画面ではExchange Serverとの同期が行われます)。入力する情報については、ネットワーク管理者にご確認ください。

また、ネットワーク環境によっては別の画面が表示されることもありますので、ネットワーク管理者にお尋ねになり、画面にしたがって操作してください。

8 「同期オプション」画面が表示されたら、同期する項目にチェックをつけて[次へ]をクリックします。



同期する項目にチェックをつけます。

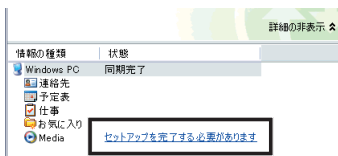
「予定表」、「電子メール」、「お気に入り」、「ファイル」の詳細設定ができます。

- 「ファイル」を選択すると「ファイルの同期」メッセージが表示されます。パソコンと同期する場合は、[OK]をクリックしてください。この「ファイル」は、同期するためのものです(☞8-13ページ)。パソコンとこの製品のファイルをコピーするときは、ファイルのコピー(☞8-12ページ)を行います。
- Windows Media Player 10と音楽ファイルを同期するときは、Mediaの項目にチェックを付けセットアップを完了したあと手動で行います。Mediaを選択すると「メディアの同期」画面が表示されます。[OK]をクリックしてください。

9 「Pocket PC 同期セットアップ ウィザードの完了」画面が表示されたら、[次へ]をクリックします。

しばらくすると自動的に同期が開始されます。同期が終了すると、「ActiveSync」画面内に「接続完了」が表示されます。

10 Windows Media Player 10と同期する場合(手順8でMediaにチェックを付けた場合は、ActiveSync画面内のMediaの右横の「セットアップを完了する必要があります」をクリックします。



11 表示された確認画面で「はい」をクリックします。

Windows Media Player 10が起動します。

12 Windows Media Player 10で「同期」タブをクリックし「同期の設定」をクリックします。

13 表示された画面で、「手動」を選択し[完了]をクリックします。

14 画面左側のリストに音楽ファイルを表示させ、「同期の開始」をクリックします。



Windows Media Playerと同期が始まります。

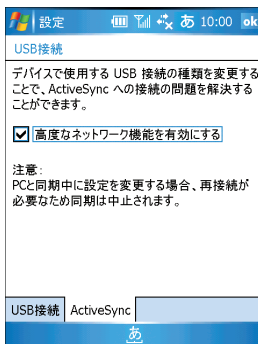
ActiveSyncをインストールできないときや同期できないときは、8-16ページをご覧ください。

MEMO

- 手順13で「自動」を選択すると音楽ファイル以外にビデオファイルなどすべてのファイルが自動的にWindows Media Playerと同期しますので、「手動」を選択することをおすすめします。
1度「自動」を選択した後は、必要に応じて同期する項目を選択することができます。くわしくはWindows Media Player 10のヘルプをご覧ください。
- ActiveSyncインストール後にMediaなど同期する項目を変更するときはパソコンとこの製品を接続した状態でActiveSync画面の「ツール」メニューの「オプション」を選択します。
前ページの手順8の「同期オプション」画面が表示されますので項目のチェックを付けたたり外したりします。

ActiveSyncを使って同期する

- 1 **スタート**メニューの“設定”にタップします。
- 2 設定画面で**接続**タブにタップし、“USB接続”にタップし、**USB接続**タブで「PCと同期する。(ActiveSync)」にチェックを付けます。
- 3 **ActiveSync**タブをタップし、「高度なネットワーク機能を有効にする」にチェックを付けます。



- 4 **ok**にタップします。

8-18ページの方法で接続するときは、**ActiveSync**タブで「高度なネットワーク機能を有効にする」のチェックを外します。

- ご注意!**
- この製品とパソコンを同期するときは、必ず手順1~4を行ってください。手順2のUSB接続の設定が「モデムとして使用する」にチェックが付いていると、同期できません。

- 5 この製品とパソコンを付属のUSBケーブルで接続します。


自動的に同期が始まります。

この製品とパソコンを接続した状態では、この製品またはパソコンのどちらかのデータが更新されると、同期が始まります。



MEMO

- 手動で同期するときは、次の方法で行います。

パソコン側から同期を実行する

- 1 ActiveSyncの[ファイル]メニューの[同期]をクリック、または同期をクリックします。

この製品側から同期を実行する

- 1 **スタート**メニューの“プログラム”にタップし、プログラム画面で“ActiveSync”にタップします。

- 2 画面左下の**同期**にタップします。

- この製品とパソコンを取り外すときは、同期中ではないことを確認してから取り外してください(☞8-22ページ)。

同期をするときの設定を行う

同期を行うときにどのアプリケーションと同期を行うのかを設定できます。

- 1 パソコンとこの製品を接続します。
- 2 パソコン側のActiveSync画面で、「ツール」メニューの「オプション」をクリックします。
設定画面が表示されます。
- 3 同期に関する設定を行います。
同期するアプリケーションの設定など行います。



設定画面に表示される「 ファイル」は、ファイルを同期するためのものです（[8-13ページ](#)）。

パソコンに保存しているファイルをこの製品にコピーしたり、この製品のファイルをパソコンにコピーするときは、[8-12ページ](#)の方法（ファイルのコピー（ドラッグ&ドロップ））で行ってください。

- ① 同期するパソコン名（フレンドリ名）が表示されます。
「設定」をクリックするとフレンドリ名の変更やパソコンで設定されている日時をこの製品に同期させることができます。
 - ・パソコンで設定されている日時をこの製品に同期させるときは「接続時にPocket PCの日時を同期する」にチェックをつけて同期操作を行ってください。
- ② 同期するアプリケーションにチェックをつけます（チェックを外すと同期されません）。
- ③ 「予定表」、「電子メール」、「お気に入り」、「ファイル」の詳細設定ができます。（[次ページ](#)）

予定表／電子メールなどの設定を行う

予定表や電子メールなどを同期するとき、同期する期間(たとえば、過去2週間と未来の予定)やメールのサイズ制限などができます。

以下のプログラムに対して設定ができます。

- ・ 予定表
- ・ 電子メール
- ・ お気に入り

1 パソコン側のActiveSync画面で「ツール」メニューの「オプション」をクリックします。

設定画面が表示されます。

2 予定表、電子メール、お気に入りのいずれかを選択し、[設定]をクリックします。

3 表示された同期設定画面で、同期する期間などを設定します。

- ・ 予定表 : 同期する予定の期間を設定します。
- ・ 電子メール : 同期する期間やサイズ、添付ファイルも含めて同期する／しないを設定します。
- ・ お気に入り : 同期するURLを選択／削除します。

MEMO

- 予定表やメールを同期するとき、期間やサイズ制限などの設定によって同期できないデータがあります。同期した後、同期していないデータがあるときは、上記の手順2で確認してください。

ファイルをコピーする

パソコンとこの製品の間で相互にファイルをドラッグ&ドロップでコピーできます。

1 パソコンとこの製品を接続します。

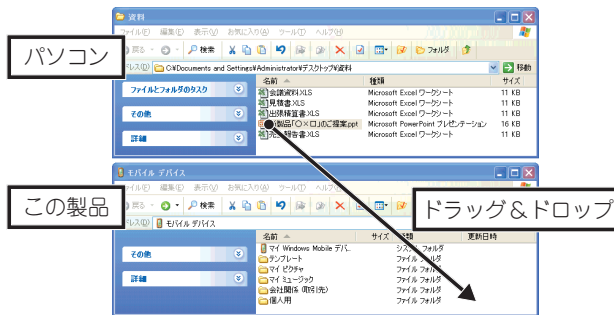
2 パソコン側のActiveSync画面で、「エクスプローラ」をクリックします。

「モバイル デバイス」ウィンドウが開き、この製品に保存しているファイルやフォルダが表示されます。

3 パソコンのウィンドウを表示し、パソコンに保存しているファイルやフォルダを表示します。

4 コピーしたいファイルを一方のウィンドウからもう一方のウィンドウにドラッグ&ドロップします。

ドラッグ&ドロップしたファイルがコピーされます。



5 「モバイル デバイス」ウィンドウの右上の  をクリックしてウィンドウを閉じます。

6 パソコンとこの製品を取り外します。

MEMO



- パソコンからこの製品を取り外すとドラッグ&ドロップしてもコピーされません。
- パソコンからこの製品にMicrosoft ExcelファイルやMicrosoft Wordファイルをコピーすると外出先等でもファイルの内容を確認できます。

ファイルを同期する

パソコンのファイルとこの製品のファイルを同期できます。
同期するには、同期フォルダを利用します。

1 パソコンのデスクトップに同期フォルダ()が表示されていることを確認します。

MEMO 

- 同期フォルダ()が表示されていないときは、「同期をするときの設定を行う」([☞8-10ページ](#))を参照して、 ファイルにチェックを付けて同期設定してください。

2 同期したいファイルを同期フォルダに入れます。

3 この製品とパソコンを接続します。

同期フォルダ内のファイルを同期し、パソコンとこの製品で同じ内容のファイルを持つようになります。

ご注意!

- Microsoft WordやMicrosoft Excelなどのファイルを同期するとき
Microsoft WordやMicrosoft Excelは、Word MobileやExcel Mobileに比べて多くの機能を持っています。このため、同期時にパソコン上の同期フォルダ内のWordやExcelファイルからWord MobileやExcel Mobileなどが持っていない機能が削除されます。

MEMO 


- この製品とパソコンを取り外すときは、同期中ではないことを確認してから取り外してください([☞8-22ページ](#))。


お気に入りと同期する

パソコンで表示したホームページやパソコンに取り込んでおいたホームページのURLを、この製品に転送することができます。


- 1 パソコンのInternet Explorerの「お気に入り」メニューの中に「モバイルのお気に入り」フォルダが作成されていることを確認します。

MEMO

- 「モバイルのお気に入り」フォルダが表示されていないときは、「同期をするときの設定を行う」(☞8-10ページ)を参照して、 お気に入りにチェックを付けて同期設定してください。

- 2 パソコンでホームページを表示し、「お気に入り」メニューの「お気に入りに追加」をクリックします。表示されたお気に入りの追加画面で、「 モバイルのお気に入り」をクリックして選択し、[OK]をクリックします。

MEMO

- お気に入りの追加画面に「 モバイルのお気に入り」が表示されていない場合は、お気に入りの追加画面の[フォルダ]をクリックしてフォルダを表示させます。

- 3 この製品とパソコンを接続します。

追加したお気に入りのがこの製品に転送されます。

転送されるのは、モバイルのお気に入りフォルダに追加したホームページのURLのみです。実際にホームページを閲覧するときは、インターネットに接続する必要があります。

MEMO

- パソコンのInternet Explorerの「ツール」メニューの「モバイルのお気に入りの作成」をクリックしても「モバイルのお気に入り」に追加されません。
- この製品とパソコンを取り外すときは、同期中ではないことを確認してから取り外してください(☞8-22ページ)。

他機種データをこの製品に移す

WS003SH、WS004SHなどからデータを移すには、ActiveSyncの同期を使って行います。

「WS003SH、WS004SHなどの予定表や連絡先などのデータ」と「パソコンのMicrosoft Outlookのデータ」を同期したあと、そのパソコンとこの製品を同期します。

- **WS003SH、WS004SHなど他機種でActiveSyncをインストールしてお使いの方**
インストールしているActiveSyncを使ってこの機種と同期することでデータを移行できます。同期する項目を確認して、同期を行ってください。
- **WS003SH、WS004SHなど他機種でActiveSyncをインストールされていない方**
ActiveSyncをインストール(☞8-4ページ)したあと、データを移します。

1 8-4～8ページをご覧になりActiveSyncをインストールします。
インストール時、手順8で、「連絡先」、「予定表」、「電子メール」、「仕事」、「メモ」、「お気に入り」にチェックを付けます。

2 インストール後、WS003SHなど他機種とパソコンを接続して同期します。
Microsoft OutlookとWS003SHなどとの間で同期が行われ、Microsoft OutlookとWS003SHなどのデータが同じ状態になります。

3 この製品とパソコンを接続して同期します。
Microsoft Outlookとこの製品との間で同期が行われます。この製品に何もデータが入っていない状態では、Microsoft Outlookのデータがこの製品に移ります。

インストールや同期ができないときは

ActiveSyncをインストールできないときや同期できない、エラーメッセージが表示されるときは、以下の内容をご確認ください。

8-5ページの方法でインストールしたあと同期できないときは

USB接続([ActiveSync]タブ)で、「高度なネットワーク機能を有効にする」のチェックを外して接続してみてください。

この時、1回目の接続でドライバのインストールが必要になります。くわしくは、8-18ページをご覧ください。

「高度なネットワーク機能を有効にする」のチェックを外しても同期できないときは

以下の内容をご確認ください。

こんなときは	ここをお確かめください
<ul style="list-style-type: none">● インストール直後、同期できず、エラー(「サポートコード：85010014」)が表示される。	<ul style="list-style-type: none">● Microsoft Outlookを起動し、「ヘルプ」メニュー→「アプリケーションの自動修復」をクリックします。 自動修復完了後、Windowsの「スタート」メニュー→「コントロールパネル」→「プログラムの追加と削除」をクリックし、プログラムの追加と削除画面でMicrosoft ActiveSyncを選択し[変更]をクリックします。表示された画面で[次へ]をクリックし、次の画面で「修復」を選択し[次へ]をクリックします。
<ul style="list-style-type: none">● 「Outlookを既定の設定にしてください」と表示され同期できない。● 「デフォルトのメールクライアントを設定されていないか、現在のメールクライアントがメールを受け取れない状態にあります。Microsoft Outlookを起動してデフォルトのメールクライアントに指定してください。」と表示され同期できない。	<ul style="list-style-type: none">● パソコンの“Internet Explorer”を起動し、「ツール」メニュー→「インターネットオプション」をクリックし、表示された画面の「プログラム」タブをクリックして「電子メール」の項目を「Microsoft Office Outlook」にします。


こんなときは	ここをお確かめください
<ul style="list-style-type: none"> ● エラー(「サポートコード：8503001f」)が表示され同期できない。 ● 「プロファイル保護がかかっています。プロファイルを作成し直してください。」と表示され同期できない。 ● 「電子メールは既にWindows PCと同期しているため同期できません。」と表示され電子メールの同期ができない。 ● エラー(「サポートコード：80072EE2」)が表示され同期できない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 現在の同期設定を削除(モバイルデバイスの削除)し、再度、モバイルデバイスを作り直します。パソコンとこの製品の接続を外して、パソコンとこの製品に設定されているモバイルデバイスを削除してください。削除後、再度同期を行うと新しいモバイルデバイスが設定されます。以下の方法でモバイルデバイスを削除してください。 パソコン：ActiveSync画面の「ファイル」メニューの「モバイルデバイスの削除」をクリックして確認画面で「はい」をクリックします。 この製品：プログラム画面で“ActiveSync”をタップし表示されたActiveSync画面で <input type="text" value="メニュー"/> - <input type="text" value="オプション"/> をタップし、オプション画面で <input type="text" value="削除"/> をタップして確認画面で <input type="text" value="はい"/> をタップします。 パソコンとこの製品の両方のモバイルデバイスを削除した後、USBケーブルで接続すると「同期セットアップウィザード」画面が表示されますので画面にしたがって操作して同期を行ってください。
<ul style="list-style-type: none"> ● ActiveSyncインストール後にOutlookをインストールしたり、Windows Media Player10をインストールまたはWindows Media Player10にアップグレードしたときは？ 	<ul style="list-style-type: none"> ● ActiveSyncの修復を行ってください。修復の方法は、前ページの1つ目の「ここをお確かめください」をご覧ください。

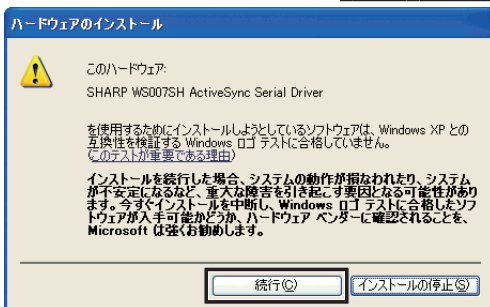
どうしてもインストールや同期ができないときは

Outlookを使える状態にしても同期できないときや前ページの方法でも同期できないときは、OutlookとActiveSyncをいったんアンインストールしてください。その後Outlookをインストールし使える状態にして、ActiveSyncをインストールしてみてください。

USB接続([ActiveSync]タブ)で、「高度なネットワーク機能を有効にする」のチェックを外して接続する

8-5 ページの方法でインストールしたあとと接続できないときは、USB 接続 ([ActiveSync]タブ)で、「高度なネットワーク機能を有効にする」のチェックを外して試してください(☞8-9ページ)。

- 1 パソコンからこの製品を取り外します。
- 2 付属のGetting Started CDをパソコンにセットします。
自動的に8-5ページの手順2の画面が表示されますので、画面右上の  をクリックし画面を閉じます。
- 3 この製品のUSB接続([ActiveSync]タブ)で、「高度なネットワーク機能を有効にする」のチェックを外し、**ok**をタップします。
- 4 パソコンとこの製品を接続します。
- 5 しばらくすると、「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」画面が表示されますので、「いいえ、今回は接続しません」を選択し[次へ]をクリックします。
- 6 表示された画面で、「ソフトウェアを自動的にインストールする」を選択し、[次へ]をクリックします。
- 7 下記のような「ハードウェアのインストール」画面で「合格していません」と表示されますが、**[続行]**をクリックします。



- 8 「新しいハードウェアの検索ウィザードの完了」が表示されたら、[完了]をクリックします。
- 9 「Pocket PC同期ウィザードへようこそ」画面(8-6ページの手順7)が表示されますので、8-6ページの手順7以降をご覧になり操作します。